2026年
8月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

県内173,250筆

2026年7月10日 現在

2026年あいち平和行進 まとめの集会を開催！

各コースから反核・平和の声が広がった報告が相次ぐ！

7月9日、民主会館にて「２０２６あいち平和行進まとめ集会」が開催されました。例年のように今年のあいち平和行進で寄せられた、行進ペナントと折り鶴が部屋いっぱいに飾り付けられ、会場とオンライン合わせて40名が参加しました。

はじめに、今年のあいち平和行進のまとめの報告を大村義則愛友会事務局長が行いました。

世界的な核の危機と戦争の停戦を訴え、日本政府に禁止条約参加、９条守れと訴え、そして原水爆禁止世界大会の成功を訴えながら取り組んだ平和行進となったと、今年の平和行進の意義が語られました。

今年の特長としては、被爆80年の昨年に久しぶりに、もしくは初めて平和行進に取り組んだコースが、今年も続けて取り組んだことや、デモカレンダーを活用し各コースの告知を行ったところ、多くのコースでデモカレンダーを見て参加する新しい参加者の姿があったことが大きな特徴として報告されました。また、原爆の火を先頭に、被爆者とともに行進を行い、被爆者のべ13人の参加があったことも報告されました。

県内通し行進者からは、「平和を、核兵器廃絶を訴えながら歩けたことがとても良かった」「愛知のピースコールはとてもいい」など感想が語られました。

愛友会の丹羽洋子副理事長があいさつを行い、平和行進でみなさんが歩いている姿を見ている人が、考えるきっかけになればと話し、「来年は少しでも歩きたい」と語りました。

会場からの発言では、碧南・高浜コースの大村美恵さんから「今年80名の参加があった。平和行進の時だけでなく、恒常的な組織を作ろうと呼びかけ、６月14日に碧南・高浜平和を願う市民の会ができた。会員は65名で、「４人の学生が『駅まで』と一緒に歩いてくれた」、名古屋市内集中行進では西区や北区など、いくつかのコースでデモカレンダーを見て参加してくれた人がいたことなど、各コースからの報告や感想が相次ぎ、共通して飛び入り参加してくれたことやデモカレンダー、ＳＮＳを見て参加してくれる人がいたことが報告されました。

うたごえ協議会の舟橋さんが「歌声は平和の力、平和行進に歌って参加しようと呼びかけてきた。また、来年に向けて若い人と一緒にがんばっていきたい」と、まとめのあいさつを行い、最後に「青い空は」を合唱し終了しました。

9月12日から碧南市文化会館に高校生の絵画・原爆パネル展を開催する」と報告がありました。

稲沢コースからは「行進が学校の下校時刻と重なり、毎年子どもが参加してくれる」、瀬戸・尾張旭・守山コースでは圧倒的多数の国、ＮＧＯが、第６条の軍縮義務と「核兵器撤廃」の約束履行を迫り、「ＮＰＴ違反の戦争」批判に米・露は連日弁明に終始し、核兵器の禁止を求める国際潮流のうねりと核兵器国の孤立が鮮明になったこと、国連・政府・世界の市民社会の共同が世界を動かしていること、そして世界の反核運動をリードしてきたのが原水爆禁止世界大会であることが語られました。

代表団の体制は、団長に西尾美沙子愛労連議長、副団長に長坂圭造自治労連愛知県本部副委員長、大村義則県原水協代表理事が推薦され、会場の拍手をもって任命されました。

会場からは、高校生15人を連れて広島に行く聖霊高校の先生などから大会参加の決意や意気込みが語られました。

被爆81年・2026年世界大会 愛知から146名が参加へ

７月25日、原水爆禁止２０２６年世界大会の愛知県代表団結団式を民主会館にて行い、世界大会の参加者など60名が参加しました。現在、愛知県からは国際会議５名、広島大会１３２名、長崎大会９名、のべ１４６名の参加となっています。

はじめに、「核を巡る情勢の特徴と原水爆禁止２０２６年世界大会」と題して、愛知県平和委員会の坂本敏彦さんを講師に学習が行われました。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ・ジェノサイド、アメリカとイスラエルのイラン核施設攻撃など、核による威嚇を背景に国際法を無視した暴走が加速している情勢を語り、日本では高市政権のもとで大軍拡と非核３原則見直しが進められていることが話されました。

今年５月に開催されたＮＰＴ再検討会議では、

核兵器禁止条約成立９周年
栄で記念行動を実施

２０１７年に国連で核兵器禁止条約が１７７か国の賛成で採択された７月７日に合わせて、核兵器禁止条約採択９周年記念行動を、中区栄で行いました。

愛知県保険医協会・反核医師の会、愛労連、愛知国公、名古屋市職労、愛知県平和委員会、新日本婦人の会愛知県本部、愛知のうたごえ協議会、県原水協事務局などから12人の参加がありました。

関心が高く、20人からの核禁署名を寄せていただきました。高市政権のいま、ＮＰＴの様子を伝えながら、「戦争反対」「核兵器禁止条約への参加」を訴えました。

取り組みの最中に、春日井の伊藤けんじ議員から、非核三原則の堅持を求める意見書決議が賛成多数で採択されたとの一報が入りました。基地の町、春日井市だけに、この決議はとても重要だと思います。

7月7日、春日井市議会で『非核3原則の堅持を求める意見書』賛成多数で採択

春日井市議会で「非核３原則の堅持を求める意見書」が賛成30、反対１で採択されました。

日本は、世界で唯一の戦争被爆国として「核兵器のない世界」の実現に向け、国際社会を主導する責務を有している。「持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核三原則は、我が国の国是であり、現在国内の地方自治体１，７１８の内、約95％の１，６３２自治体が非核自治体宣言を発するなど、平和国家の礎となっている。政府は、２０２２年に策定された国家安全保障戦略や、防衛白書等において非核三原則を堅持する基本方針を明確に示し続けており、この国是の揺るぎない堅持こそが、日本に対する国際社会からの信頼の基盤であることは言うまでもない。今日まで核兵器が使用されなかった背景には、我が国が平和主義の理念の下、戦後一貫して積み重ねてきた外交努力や、日本原水爆被害者団体協議会をはじめとする被爆者や遺族による「被爆の実相」を伝える真摯な訴えがある。現在、国際情勢の緊張が高まる中、重要なのは現実的な核軍縮を確実に前進させていくことである。我が国は唯一の被爆国として、核兵器保有国と非保有国、さらには核兵器禁止条約支持国との間の「橋渡し役」を果たし、国際社会の合意形成を導くことが強く求められている。よって、国に対し、国是である非核三原則を今後とも確固としての堅持するとともに、唯一の被爆国としての外交努力を尽くし、国際社会において現実的かつ実践的な核軍縮の取り組みを主導することを強く求めるものである。

春日井市ＨＰ、または「春日井市 意見書 非核３原則」で検索すると掲載されています。

学生の呼びかけで署名・宣伝行動！関心の高まりを実感

あいち平和学生会議が呼びかけて7月10日に名古屋・栄で、12日は大須で、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名を集める学生・市民アクションを行いました。

10日は、三越前で署名、宣伝、スピーチ、スタンディングでアピールしました。デモカレンダーを見て参加してくれた方も含めて、13人の参加で18筆の署名。寄ってきて署名してくれる方も多く、関心の高まりを感じました。

開始からずっと話を聞いてくれていた女性が途中でこちらに近づいてきて、署名してくれるのかな…と思ったら「スピーチさせて下さい」とマイクを握ってくれました。聞けば大学３年生。デモカレンダーを見て来たが、30分くらい迷ったうえでスピーチを決意してくれたとのことでした。思いが広がっていることを感じる行動となりました。

12日の大須には、デモカレンダーを見て参加してくれた方４名に大学生２人と中学生２人を含む13人で署名とスタンディングでアピールしました。署名は24筆集まりました。

暑い最中の行動でしたが、足を止めて署名してくれる人、メッセージやチラシに目を向ける人がいました。デモカレンダーを見て参加してくれた方は「学生さんが集まって行動されてることに感動。少しでも手伝いたいと思ってきました」と、話してくれました。春日井や安城など、市外から来てくれた方もみえました。

あいち・平和のための戦争展

８月13日(木)～16日(日)
10：00～17：00
場　所　市民ギャラリー矢田
入場料　一般５００円
※高校生以下障がい者（介助者含む）は無料

原爆犠牲者を偲ぶつどい

日時：８月３０日(日)13時から
場所：名古屋市公会堂4階ホール
どなたでも参加いただけます。
※会場の設営などの要員が必要です。手伝える方は原水協事務局まで連絡ください。

栄・オアシス21
『原爆と人間』パネル展

８月22日(土)14時～20時　23日(日)９時～18時

原爆パネル展を栄・オアシス21のイベント・サブスペースで開催します。「生きているうちに核兵器の廃絶を」の被爆者の思いを実現するためにも、多くの市民に被爆の実相を伝えましょう。「原爆と人間パネル・高校生の描いたヒロシマ絵画の展示を行います。